



自分たちの意見を支持するデータを収集中1



自分たちの意見を支持するデータを収集中2

活用場面

個別学習

調査活動

協働学習

発表や話し合い

協働での意見整理

協働制作

活用した機器等

Chromebook

iPad

プロジェクター

活用したアプリ等

Google Classroom

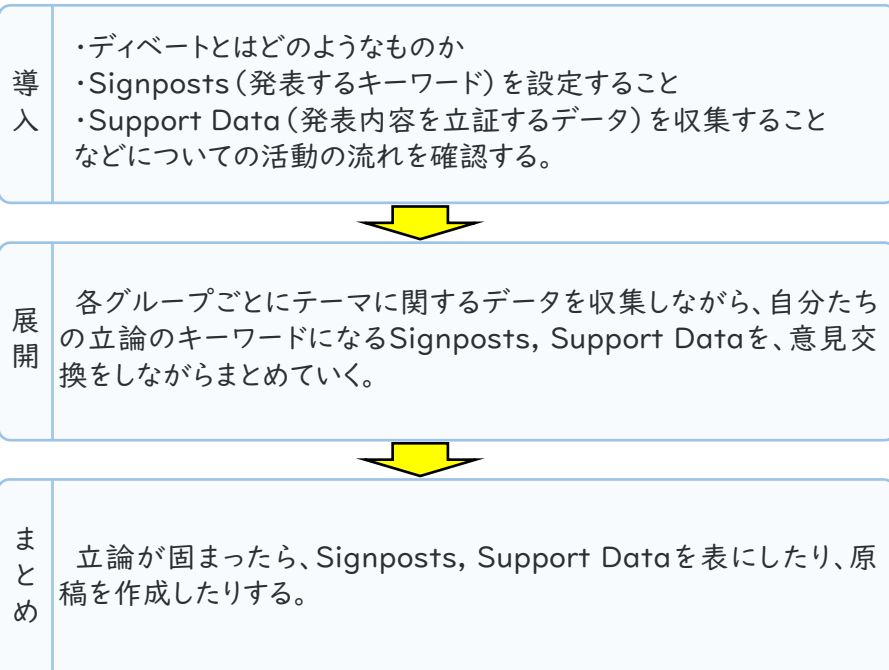
Google ドキュメント

Google スライド

学習のねらい

「スマートフォンを子どもに与えることはよいことか?」をテーマとしたディベートの立論作成の際に、インターネット検索を中心にデータ収集を行い、自分たちの意見を論理的に組み立てる。

学習の流れ



ココでICTを活用!

ディベートのテーマに関して、自分たちでブレインストーミング(相手を批判することなく自由に意見を出し合う)をした上で、リサーチ(意見を立証するデータを収集するためのインターネット検索等)活動を行った。そのことで、違った視点から捉えた考え方を参照し、自分たちの意見を支持する文を論理的に考えることにつながった。

また、インターネット上での検索作業では、大量のデータからより適切なものを選択する作業が求められるため、批判的思考力の育成にもつながると考えられる。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

ICTを使うことで、テーマに関して掘り下げて考え、自分たちの意見を論理的に示すデータを簡単に参照することができる。そうすることで、自分たちの知識だけでは限界があったり、自信がない場合でも、リサーチしてデータを見つけた際に、意見交換などして活動に参加できた。特に英語が苦手でも、ICTに長けている生徒たちはリサーチした内容を提示し、生き生きとグループで活動できていた。英語で表現する際に、Google翻訳等を利用している生徒も見られたが、未知の語句が表示された際、入力する表現を変えるなど、主体的な活動も見られた。